

秋田工業高校近況

秋田県立秋田工業高等学校 校長
新田 宏光



◎自己紹介します

- ・生年月日は、昭和27年5月29日
- ・五城目町出身（東北電力勤務の父親の異動先）
- ・秋田高校から秋田大学鉱山学部電気工学科へ
- ・秋田市内の電気工事会社2社に勤務（通算約7年）
電気工事の現場作業、工事見積りの積算業務等に従事
- ・大館工業高校に教諭として採用後、西目高校、秋田工業高校、
総合教育センター指導主事、秋田明德館高校教頭、大館工業高
校教頭、由利工業高校校長を経てこの4月本校赴任
- ・資格等：電気工事士1種・2種、消防設備士甲4・乙7
危険物取扱者丙・乙4
- ・運転免許：普通、大型、大型特殊、普通自動二輪、
小型船舶1級・特殊

◎秋工との関わり

前述のように電気が専門であり、5年前までに本校電気科で科長として、4年ほどお世話になりました。生徒たちが「科長、科長」と呼んでくれたのを懐かしく思っています。また、当時の教え子が教員をめざして本校でがんばっているのに出会えたのも、この仕事なればこそかなとうれしく思っています。さらに当時同職し、退職された先生方と時折一献傾けるのも楽しみの一つとなっています。ちなみに私の実弟が、本校建築科昭和47年卒です。

◎定員割れと少子化の波

4月6日に入学式を行いました。総定員240名に対し、入学者数

は236名で4人の定員割れとなってしまいました。入試では前期・一般とも定員を大きく上回る志願者数（最も高く1.72倍）で定員を確保できたのですが、後期選抜では志願者が少なく（12人の定員に対し、11人）、選抜の結果も3名が不合格となってしまったのです。

秋田県では少子化が著しく、生徒の定員減や学校の統合が次々と行われている状況です。前任の由利工業高校は、今年度から1クラスの定員を40人から35人に減らしました。3年後には1校で60人減少することになります。また今年度、県北の合川、米内沢、鷹巣、鷹巣農林の4校が統合されて秋田北鷹高校に、さらに県南の湯沢商工と湯沢北が統合されて湯沢翔北高校という新しい学校が開校しています。今後も大館や能代、角館地区での統合が計画されているような状況です。

◎新年度が始まって

3月11日の大地震の影響とみられる余震が頻繁に起きています。4月7日深夜に起きた震度5強の地震により、県内全域が停電となり、翌8日は一斉休校となりました。それでも太平洋岸の被災地域に比べたら、秋田県内の被害はほとんどないといってもいいくらいです。本校でも例年と同じように年度初めの行事を淡々とこなしているところです。我々はこの当たり前の日常に感謝しなければならないのだと、始業式で生徒たちに話しました。

新しい生活が始まった新1年生も毎日元気に登校してきています。彼らも3年後には、一人前の「金砂健児」となってここを巣立って行くのかと思うと、我々教職員の指導と責任の重さを強く感じているところです。

◎終わりに

伝統ある秋田工業高校の校長に赴任できましたことは、大きな喜びであり、同時にその責任の重さもひしひしと感じているところです。また、以前勤務していた頃から、本校同窓会の存在感には大きなものを感じていました。今後とも何かとお世話になることかと存じますが、どうかよろしく願いいたします。

東京秋工会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

澤木萬國特許事務所

内外国への特許、実用新案、意匠、商標出願、侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 澤木 誠 一（昭和26年 電気科卒/東京秋工会名誉会長）

弁理士 澤木 紀 一

〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目18番11号 ル・グラシエル BLDG.16 4F

TEL : 03 - 3501 - 0937 (代) FAX : 03 - 3595 - 0059

E-mail : sawaki.pat@mbd.nifty.com